

沿道掘削届

提出日

令和〇年〇〇月〇〇日

台東区長殿

押印不要

届出者住所 東京都台東区東上野〇丁目〇番〇号

施行者氏名 株式会社台東建設

代表取締役 台東 太郎

会社電話 03-〇〇〇〇-〇〇〇〇

担当者 上野 次郎

担当者連絡先 080-〇〇〇〇-〇〇〇〇

下記のとおり沿道掘削の工事を実施したいので、関係書類を添付のうえ届出いたします。

- 記
- 1 掘削場所 東京都台東区 東上野 〇丁目〇〇番〇〇号
住居表示
山留杭打設から地上部施工前(埋戻し)まで
- 2 掘削期間 令和 〇年 〇月 〇日 から 令和 〇年 〇月 〇日 まで
工事全体期間
- 3 工事期間 令和 〇年 〇月 〇日 から 令和 〇年 〇月 〇日 まで
- 4 掘削事由 (仮称) 台東区マンション新築 工事の沿道掘削
沿道区域内での道路掘削延長
- 5 掘削範囲
 沿道掘削延長 43.0 メートル
 最大深さ 3.0 メートル 一番深い根切り深さ
 境界よりの離れ 1.0 メートル(山留工材の外周まで)
山留が道路に最も近接する箇所の距離
- 6 提出書類
 ・委任状
 ・誓約書
 ・案内図、配置図
 ・建築工事概要書(建築確認番号、確認日記入)
 ・道路高低図(道路付属物記入)
 ・道路現況写真
 ・工事工程表
 ・山留仕様書
 ・(2.0m以上掘削の場合)山留計画図、計算書、ボーリング柱状図
- 7 提出部数 正副2部
- 8 付帯工事
 自費工事承認番号(台道自収第 号)
 届出(予定)日(令和 年 月 日)
 道路占用許可番号(第 号)
 届出(予定)日(令和 年 月 日)

委任状

委任状を作成した日

令和〇年〇〇月〇〇日

東京都台東区長殿

代理人住所 東京都台東区東上野〇丁目〇番〇号
(施 行 者) 氏 名 株式会社 台東建設
代表取締役 台東 太郎

私は、上記の者を代理人として次の権限を委任しましたので通知いたします。

- 下記工事に伴う沿道掘削届及び工事に関する一切の件

記

工事場所.....東京都台東区東上野〇丁目〇番〇号.....

工事名称.....(仮称)台東区〇〇マンション新築工事.....

(施 主) 住 所.....東京都台東区浅草〇丁目〇番〇号.....

氏 名.....株式会社 〇〇〇〇
代表取締役 〇〇 〇〇.....(印)

施主の代表者名及び
代表者印

<記入例>

誓約書

提出日

令和〇年〇〇月〇〇日

東京都台東区長殿

住所 東京都台東区東上野〇丁目〇番〇号

氏名 株式会社 台東建設
代表取締役 台東 太郎

提出日

令和〇年〇〇月〇〇日申請中の 台東区 東上野〇丁目〇番〇号先

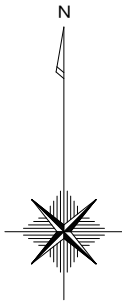
印

施工者の代表者名
及び代表者印

の沿道掘削の工事を実施するにあたり、下記のことを誓約いたします。

記

- 1 道路法、同施行令及び関係諸規定に従います。
- 2 工事に起因して既設工作物に損傷を与えた場合、又は路面に影響があらわれた場合は、届出者(施行者)の費用で現状に復旧いたします。
- 3 この工事に起因して道路上の事故のないようにいたします。
- 4 承認条件を守り、区係員の指示に従います。



<記入例>
※決められた書式はありません。

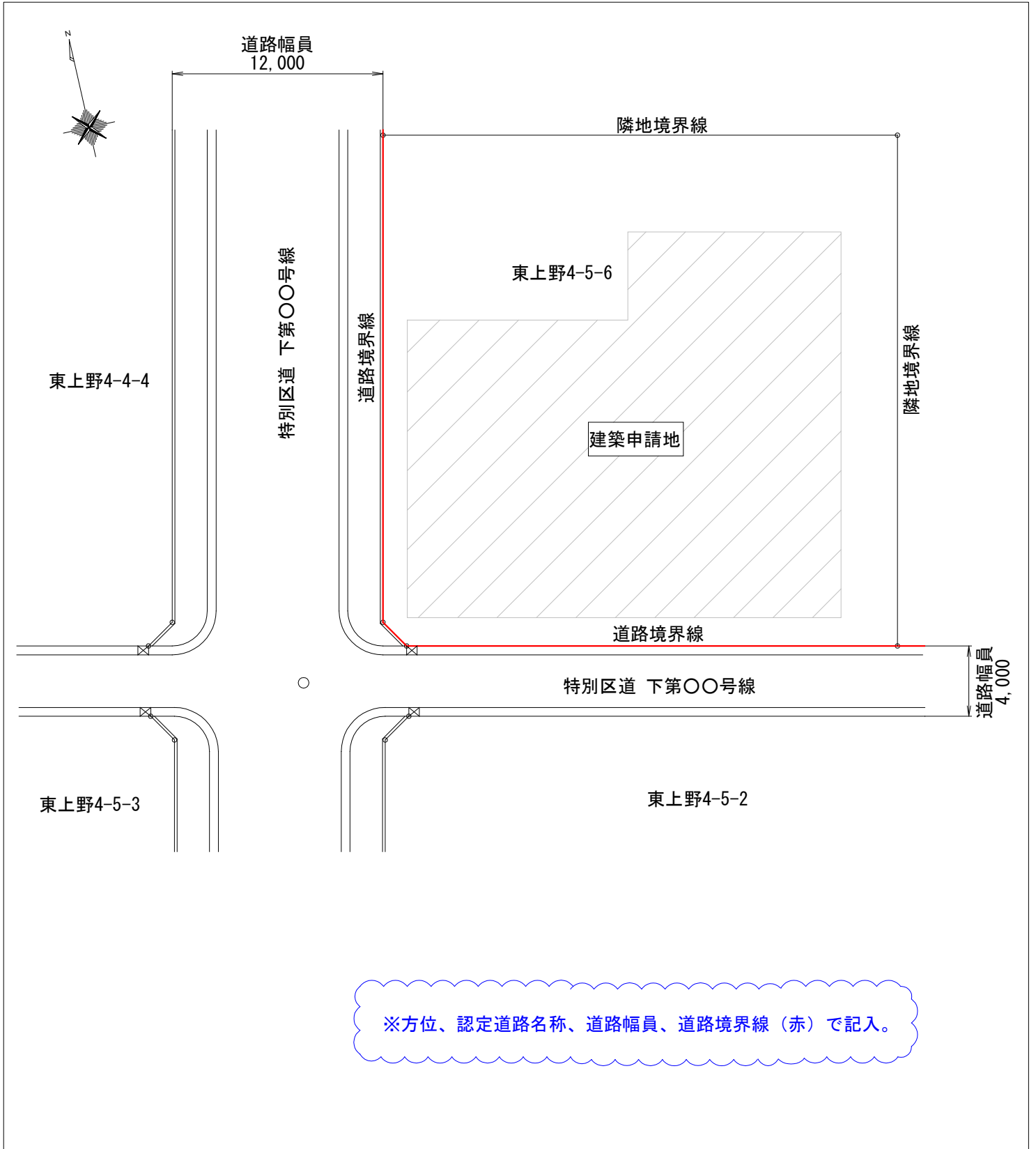
案内図



建築申請地
東京都台東区東上野四丁目5番6号

<記入例>
※決められた書式はありません。

配置図 S=1:300



<記入例>

※解体工事の場合は提出不要。

建築概要

(工事名 (仮称)台東区〇〇マンション新築工事)

所在地 東京都台東区東上野〇丁目〇番〇号

敷地面積 300.00㎡

構造 RC造

建築面積 150.00㎡

延面積 1300.00㎡

最高高さ 35.00m

最高軒高 34.00m

階数 地上8階、地下1階

主要用途 共同住宅

設備 給水・排水・電気・ガス・建築設備

建築主 株式会社 台東建設 代表取締役 台東 太郎

設計監理者 株式会社 上野設計 一級建築士 上野 太郎

施工者 株式会社 浅草建設 代表取締役 浅草 太郎

建築確認年月日 令和〇年〇〇月〇〇日

必ず記入
申請中であれば「申請中」と記入

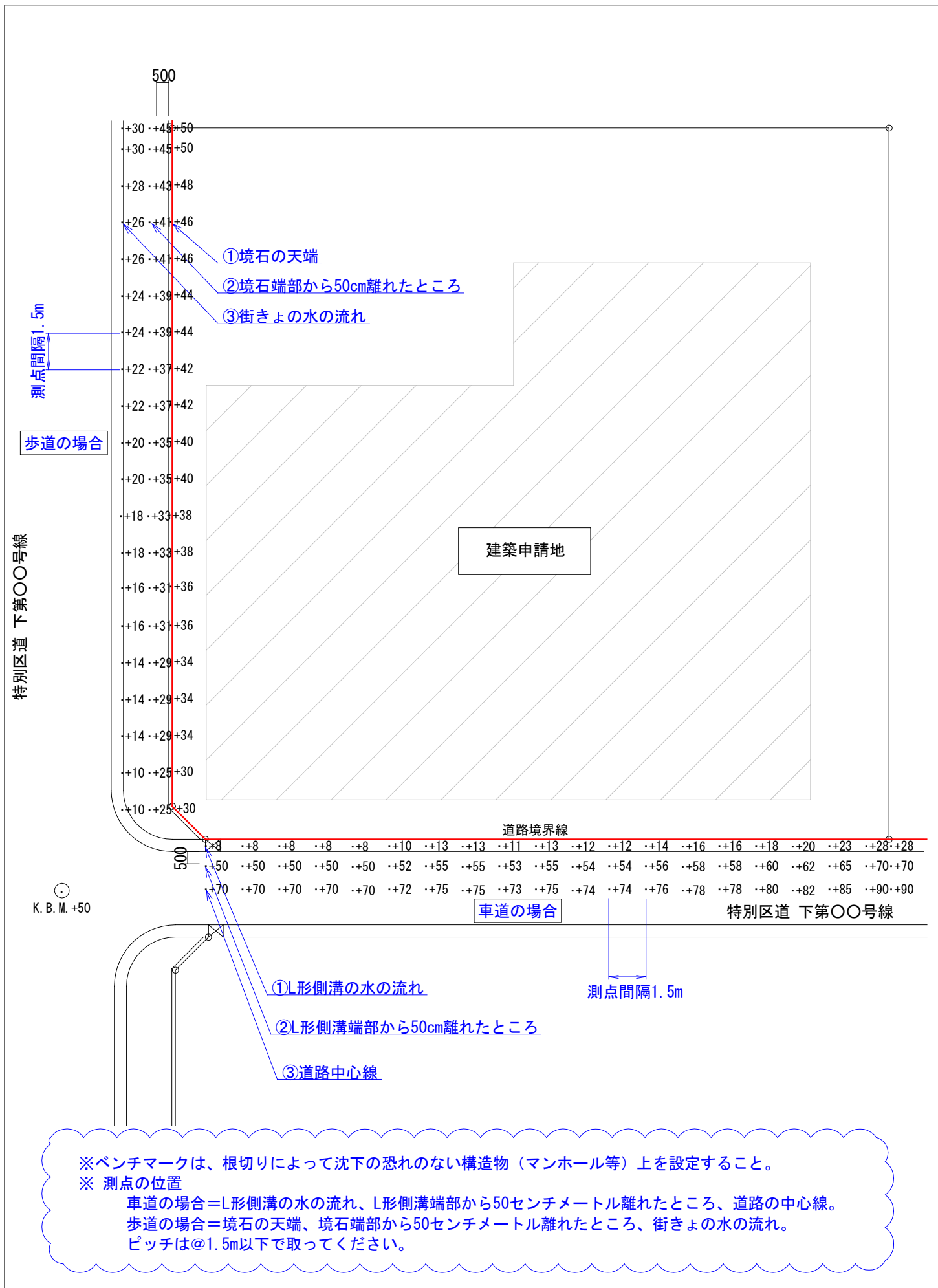
建築確認番号 第〇〇〇〇〇〇号

必ず記入
申請中であれば「申請中」と記入

<記入例>

※決められた書式はありません。

道路高低図 S=1:200



※ベンチマークは、根切りによって沈下の恐れのない構造物（マンホール等）上を設定すること。

※ 測点の位置

車道の場合=L形側溝の水の流れ、L形側溝端部から50センチメートル離れたところ、道路の中心線。

歩道の場合=境石の天端、境石端部から50センチメートル離れたところ、街きよの水の流れ。

ピッチは@1.5m以下で取ってください。

<記入例>
 ※工事全体の工程表でも可。

工 程 表

種 別	4 月			5 月			6 月			月	月	月	月	月	月
	5	15	25	5	15	25	5	15	25						
山留め工事	杭打設														
	■														
	根切り														
	■														
	地下基礎コンクリート打設														
	■														
	埋戻し														
	■														

<記入例>

山留仕様書

1 山留工法

- ・ 親杭横矢板壁、自立
- ・ 鋼矢板壁、鋼製支保工1段
- ・ ソイルセメント柱列壁、鋼製支保工2段

2 山留壁材及び根切り深さ

根切り深さ	山留壁材			
	杭材	杭長	杭間隔	矢板厚
GL - 2.000 (case1)	H-200×200×8×12	l=5.500m	@1.000	30mm
GL - 5.000 (case2)	SP-IV	l=7.500m	-	-
GL - 7.500 (case3)	ソイルセメント壁 長さ 11.000m (応力材)H-450×200×9×14 l=10.000m @450 ソイルセメント設計基準強度 Fc=5kg/cm			

※「矢板厚」は実際使用する厚みを記入する。

3 山留支保工材

段	架設位置	山留支保工材		
		腹起し	切ばり	火打ち
1	GL-1.000	H-250×250×9×14	H-250×250×9×14	H-250×250×9×14
2	GL-4.000	H-300×300×10×15	H-300×300×10×15	H-300×300×10×15

4 施工方法

1次掘削(GL-2.000m)

- ・ バックホウにて所定の深さまで掘削。
- ・ GL-1.000mの位置に1段目切ばり、腹起しを架設。

2次掘削(GL-5.000m)

- ・ バックホウにて所定の深さまで掘削。
- ・ GL-4.000mの位置に2段目切ばり、腹起しを架設。

3次掘削

- ・ バックホウにて所定の深さまで掘削。クラムシェルにて積込み。
- ・ バックホウ及び人力にて床付け終了後、ただちに捨てコン打設。

1次盛替

- ・ 立上がり壁コンクリート打設後、盛替え材を設置し、2段目切ばり、腹起しを撤去。

2次盛替

- ・ B1Fスラブコンクリート打設後、盛替え材を設置し、1段目切ばり、腹起しを撤去。

5 埋戻し及び矢板、親杭の撤去

地下構造体の構築後、締固め効果の高い良質土を機械にて締固めながら埋戻しを行う。

矢板または親杭の撤去は、周辺地盤や、隣接構造物に障害を与えないよう適切な処理をする。

6 排水処理

排水設備は、釜場を設けて水中ポンプを用い濁水を吸上げ、沈殿槽にて浄化したのち、汚水桝に放流する。

